

伊奈町における医療・介護連携に関する意見交換会について

地域包括ケア病床については今後、必要性が高まる一方、介護老人保健施設等との関係性については、現状や連携状況等を確認・共有したうえで、病床の整備を進める必要がある。このため、伊奈病院（伊奈町）の地域包括ケア病床の増床が今回、認められたことから、意見交換会を開催した。

【開催概要】

- 日 時：令和元年10月28日（月）19時00分～20時10分
- 場 所：上尾市文化センター 201集会室
- 参加者：北足立郡市医師会、上尾市医師会、伊奈町及び近隣の高度急性期病院、介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、在宅医療連携拠点、伊奈病院など

【主な意見】

- 医師会から
 - ・紹介するに当たって細かなことを書かないといけないこともある。紹介状のひな型を作ってもらおうとよい。
 - 検討したい。
- 高度急性期病院から
 - ・地域全体で1次～3次を担っていくということを考えているので、近隣の13の病院で月2回、患者のマッチングをやっている。伊奈病院も入っているが、そういう中でポストアキュート用の病院として期待している。
- 介護老人保健施設等から
 - ・受入れ難の事例があるが、他院を紹介してもらえる。また、退院の前に状況報告をしてもらえるのでありがたい。
- 在宅医療連携拠点等から
 - ・救急の受入れの返事に時間がかかることがある。ただ、4～5年前に比べると受け入れてくれている。特に、整形外科の充実や脳神経外科も頑張ってくれている。内科の充実が望まれる。
 - 整形外科も医師を増員する予定である。内科医は見つからないが充実したい。できるだけ受け入れていきたい。
 - ・急性期の患者を多くやっているのので、ポストアキュートに移行するのではないか。そうするとすぐに満床になりサブアキュートの受入れが困難になる。運営の仕方が重要である。
 - 地域包括ケアは在宅復帰率が重要、そのためには、在宅から受け入れることが重要である。まだ運営方針ははっきり見えていないが、頑張りたい。
 - ・今年になってから頑張ってくれている。期待している。
 - ・レスパイトの入院を期待する。病院にレスパイトの入院を頼むときには、医療依存度が高い患者が多く、病院で断られると後がない。受け入れてもらえれば在宅は助かる。
 - レスパイトは療養で受け入れている。今後、積極的に受け入れていきたい。重症患者、呼吸器疾患、たんの患者も受け入れている。